

私は「うつ依存症」の女 (2001)

PROZAC NATION

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ/ドイツ

色彩 Color

時間 99分

初公開日 2003/09/13

公開情報 アートポート

【キャッチコピー】

しあわせの処方箋

【解説】

うつ病に悩まされ不安と絶望感に苛まれながらも、やがて自らを受け入れ生きていく覚悟をすることで現状を克服していく女性の姿を描いた青春ドラマ。作家エリザベス・ワーツェルの自伝小説を映画化。監督は「不眠症 オリジナル版 インソムニア」のエーリック・ショルビャルグ。主演はクリスティナ・リッチ。共演にジェシカ・ラング。原題にもなっている“プロザック”とは、現在広く処方されている抗うつ剤のこと。

1986年。教育熱心な母のもとで育ったリジーは、晴れてハーバード大学に入学。彼女は才能のあるライターとして将来を嘱望されていた。母の過度な期待や音信不通の父との関係、そして以前から悩まされているうつ症状など、精神的負担を抱えるリジーだったが、ルームメイトのルビーと仲良くなり、ローリング・ストーンズ誌から執筆を依頼されるなど大学生活を順調に送っていた。しかし、ふとしたことからルビーとの友情が壊れてしまう。さらに、父の突然の訪問がそんな彼女に追い討ちを掛ける。不安定さを増したリジーは次第に情緒不安定に陥っていく…。

【クレジット】

監督	エーリック・ショルビャルグ	Erik Skjoldbjarg
製作	R・ポール・ミラー	R. Paul Miller
	ガルト・ニーダーホフファー	Galt Niederhoffer
	ブラッド・ウェストン	Brad Weston
製作総指揮	ウィリ・バール	Willi Bar
	ダニー・ディムボート	Danny Dimbort
	アヴィ・ラーナー	Avi Lerner
	トレヴァー・ショート	Trevor Short
	ジョン・トンプソン	John Thompson
原作	エリザベス・ワーツェル	Elizabeth Wurtzel
脚本	ガルト・ニーダーホフファー	Galt Niederhoffer
	フランク・ディージー	Frank Deasy
	ラリー・グロス	Larry Gross
撮影	エルリング・トウルマン・アネルセン	Erling Thurmann-Andersen

『私は「うつ依存症」の女』（講談社刊）

出演	クリスティナ・リッチ	Christina Ricci	エリザベス・ワーツェル (リジー)
	ジェシカ・ラング	Jessica Lange	サラ・ワーツェル
	アン・ヘッシュ	Anne Heche	スターリング 医師
	ミシェル・ウィリアムズ	Michelle Williams	ルビー
	ジェイソン・ビッグス	Jason Biggs	レーフ
	ジョナサン・リス=マイヤーズ	Jonathan Rhys-Meyers	ノア
	ルー・リード	Lou Reed	ルー・リード
	ニコラス・キャンベル	Nicholas Campbell	ドナルド